

金融サービスの未来を切り拓く 「Uvance for Finance」の 戦略および進捗について

2026年2月24日

富士通株式会社

執行役員常務 金融ビジネスグループ長

八木 勝（やぎ まさる）

Financial Service & Insurance事業本部長

西田 浩朗（にしだ ひろあき）

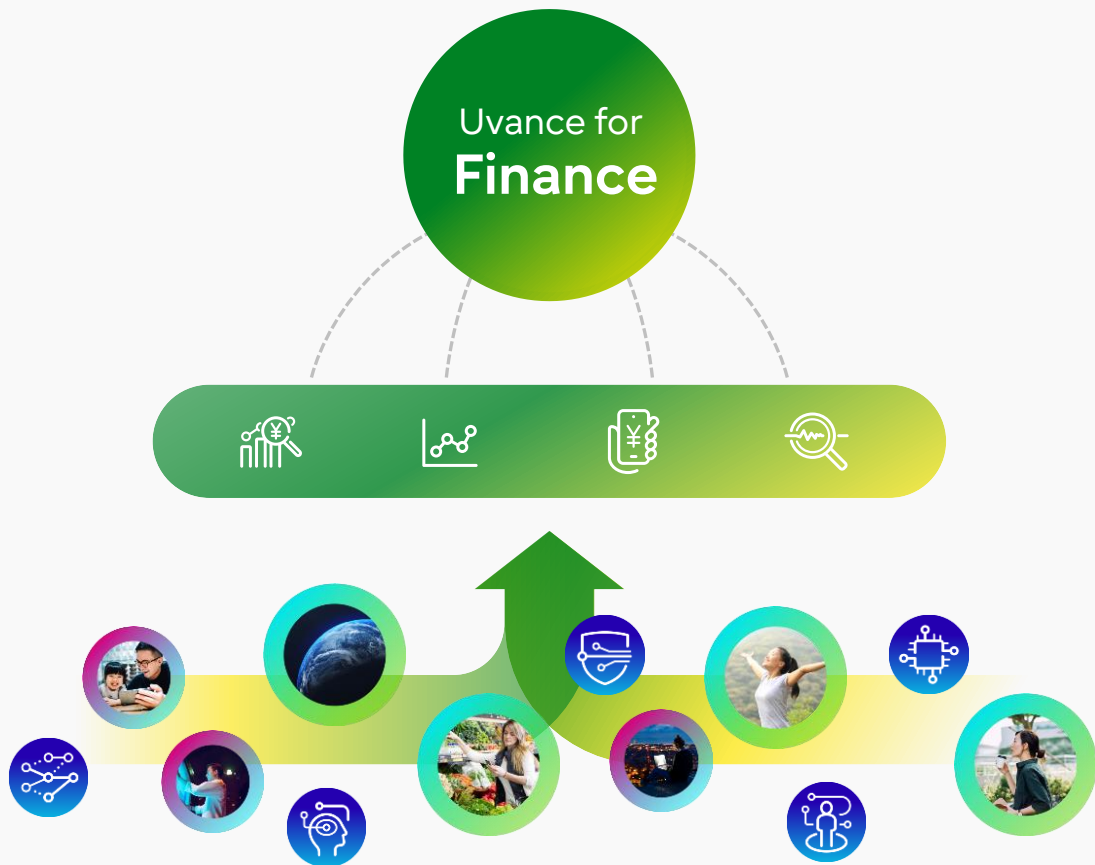


Uvance for Finance

人々のより良い暮らしを支える金融の未来を目指し、長年の金融ビジネスで培った知見と、「Fujitsu Uvance」の先進的なオファリング、そしてAIなどの最新テクノロジーを結集し Uvance for Finance を提供します。

**Realize Next-Level Finance,
Advance Societal Well-being.**

金融業務の高度化を具現化し、より豊かな社会の実現を前進させる



Uvance for Finance

uvance

組込型金融
ソリューション



AWS

Data Intelligence
PaaS



保険業界向け基幹業務
ソリューション

Cloud for
Insurance



オンライン接客
サービス



レンディング
ソリューション



デジタル銀行向け
勘定系ソリューション

Fujitsu Core Banking
xBank



Sales
force

信用スコアリング／データ分析
ソリューション

FICO



チームビルディング
ソリューション



相続支援
ソリューション



次世代オムニチャネル
ソリューション

**Digital
Branch™**



Azure

CHORDSHIP



「Fujitsu Kozuchi」
「Takane」



Servic
eNow

今回のご説明の主旨

2025年6月に体系化した金融機関向けのデジタル変革を加速するソリューション体系 Uvance for Finance における新たなソリューションラインナップと既存ソリューションのアップデートについてご紹介するとともに、富士通が目指す金融サービスを実現するオフリング体系と中期的な戦略についてお話しします。

コアソリューション

Update



保険業界向け基幹業務
ソリューション

**Cloud for
Insurance
Japan Edition**

New



リース業界向け基幹業務
ソリューション

**LEASING-1
Neo**

AI/データ利活用 プラットフォーム

Update



信用スコアリング/
データ分析
ソリューション

FICO

カスタマーエクスペリエンスの向上 スマートソサエティの実現

New



Embedded Finance

**Embedded
Finance
Platform**

Update



相続支援
ソリューション

**FinSnavi
Cloud**

New

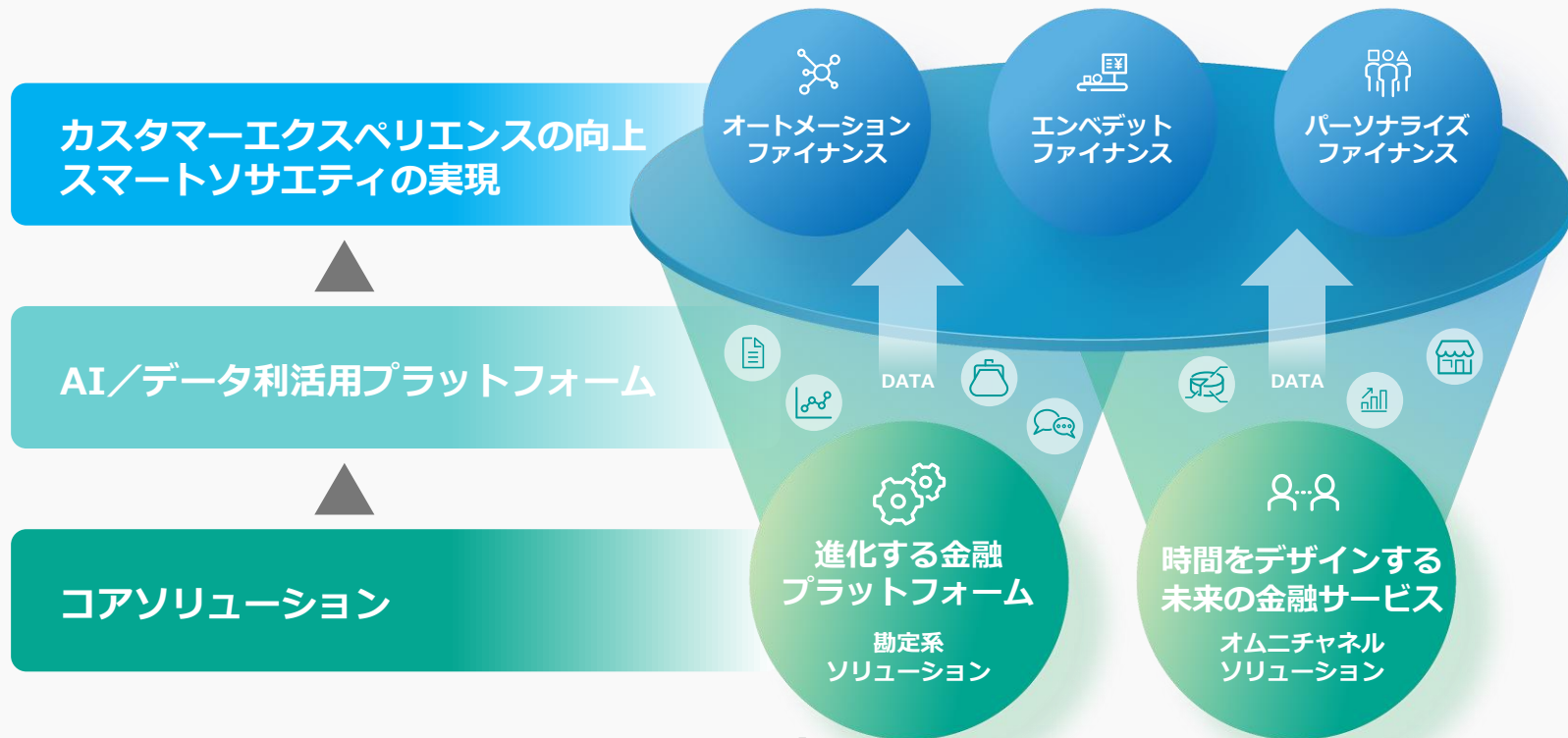


保険×ヘルスケア

**オンライン診断書
連携サービス**

富士通が目指す未来の金融サービス

信頼性の高いコアソリューションを継続的に進化させるとともに、そこから得られるデータを活用することで、人々の生活を豊かにするカスタマーエクスペリエンスの向上、スマートソサエティの実現を目指す。



Uvance for Financeのオフリング体系

富士通が目指す未来の金融サービス実現に向けて、以下の7つのオフリング体系に整理し、各カテゴリにおいてオフリングソリューションを整備していきます。

カスタマーエクスペリエンスの向上
スマートソサエティの実現



Personalized Experience



Finance Automation



Embedded Finance



Data Driven Finance



RegTech & Compliance



Sustainable Finance

コアソリューション



Reliable Core System

Uvance for Financeのオフリング体系

7つのオフリング体系において実現したいサービス概要は以下の通りです。

カスタマーエクスペリエンスの向上 スマートソサエティの実現



Personalized Experience

一人ひとりのエンゲージメント強化

金融業界での豊富な知見と実績を活かし、有人店舗の強みとデジタルの利便性を融合。行動データやライブページに応じたパーソナライズ戦略を推進することで、業務効率化とシームレスな顧客体験の向上を支援します。



Finance Automation

バックオフィス業務の自動化

業務プロセスを自動化し、効率向上と堅牢なセキュリティを両立。バックオフィス業務の負担を軽減し、戦略的な業務への集中を可能にすることで、金融機関のDXを強力に推進します。



Embedded Finance

シームレスな金融サービスの一体化

非金融企業のサービス内にAPIなどを通じて決済、保険、融資などの金融機能を組み込んで提供する仕組み。ユーザーは普段利用しているアプリ内で完結した金融体験を得られ、スピードと利便性を飛躍的に高めます。

コアソリューション



Reliable Core System

基幹システムの俊敏化と効率化

レガシーシステムのモダナイゼーション（クラウド移行、API化、マイクロサービス化）を推進。システムの柔軟性・拡張性を高め、新サービス開発の迅速化、運用コスト削減、安定稼働を実現します。

AI/データ活用プラットフォーム



Data Driven Finance

データ活用による経営・業務革新

金融機関内外の多様なデータを統合・分析し、経営戦略策定、与信審査、商品開発、マーケティング、資産運用など、あらゆる業務における意思決定を支援。AI/MLを活用した予測分析や最適化により、新たなビジネス価値を創出します。



RegTech & Compliance

規制遵守とリスク管理の高度化

金融機関が直面する複雑な国内外の規制（AML/CFT、GDPR/CCPA、パーゼル規制など）への対応をデジタル技術で支援。リアルタイムなモニタリング、自動報告、AIを活用した不正検知・リスク評価により、コンプライアンスコスト削減とリスク低減を実現します。



Sustainable Finance

ESG経営と持続可能な成長支援

ESG投資評価、グリーンファイナンス支援、サステナビリティ関連データの管理・開示支援など、金融機関のESG戦略推進をサポート。持続可能な社会への貢献と企業価値向上を両立させるためのソリューションを提供します。



Uvance for Financeの現時点でのラインナップ

2025年度において、5カテゴリで全14オフリングソリューションをラインナップ。2026年度には新たなカテゴリとして、規制遵守とリスク管理の高度化（RegTech & Compliance）、ESG経営と持続可能な成長支援（Sustainable Finance）を拡充していきます。

カスタマーエクスペリエンスの向上 スマートソサエティの実現



Personalized Experience

一人ひとりのエンゲージメント強化

- FinSnavi
- Digital Branch



Finance Automation

バックオフィス業務の自動化

- SK-Force
- FICO



Embedded Finance

シームレスな金融サービスの一体化

- Embedded Finance Platform（仮称）
- オンライン診断書連携サービス



Reliable Core System

基幹システムの俊敏化と効率化

- xBank
- WBANK
- FBCクラウド
- MCC（マルチチャネルコネクタ）
- Fujitsu Cloud for Insurance Japan Edition
- LEASING-1 Neo
- RFQプラットフォーム
- InfoOne V

AI／データ利活用プラットフォーム



Data Driven Finance

データ活用による経営・業務革新

- FICO



RegTech & Compliance

規制遵守とリスク管理の高度化

- 拡充中（FY2026～）



Sustainable Finance

ESG経営と持続可能な成長支援

- 拡充中（FY2026～）

2030年に向けた戦略と重点施策

Uvance for Finance 拡大に向けた戦略

- Uvance for Financeの対象領域の拡大と新しいオファリングソリューションの提供により未来の金融サービスに貢献
- Uvance for Finance と Uvance各領域の連動により、金融業種への価値提供
- クロスインダストリー（Embedded Finance）とグローバル展開により、業種／国境を越えた価値提供



コアソリューション

Reliable Core System

コアソリューションの考え方

従来のコアソリューションの概念を変革し、止まることの許されない信頼性を担保しながら、変化に即応できるスピードと柔軟性を兼ね備えた領域へと進化させていきます。

コアソリューションコンセプト



パブリッククラウド

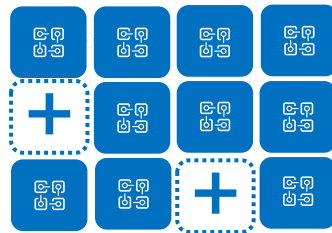


マイクロサービスアーキテクチャー



クロスインダストリー

個別使用可能なサービスモジュール群



パブリッククラウド



使いたいモジュールのみをAPIで連携

保険コアソリューション

「Fujitsu Cloud for Insurance Japan Edition」

日本の次世代保険ビジネスに必要なすべての業務をカバーし、必要な機能をモジュール単位で利用が可能です。自動車保険機能を第一弾として提供済です。

Uvance

PRESS RELEASE

保険業界の基幹業務を支える次世代プラットフォーム

「Fujitsu Cloud for Insurance Japan Edition」を提供開始

日本の保険業界の標準化や競争力強化を支援するため、SAP Pioneerがグローバルスタンダードとして提供する「SAP Pioneer Cloud for Insurance」に日本市場要件を統合

2025年11月28日
富士通株式会社

Uvance

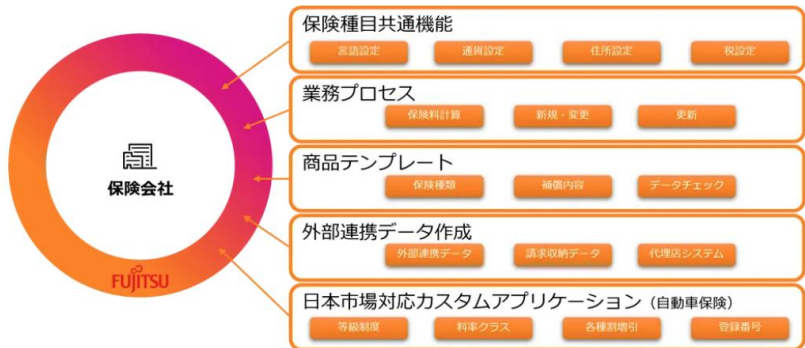
当社は、SAP Pioneer GmbH（注1）（エスエーピー・ファイオニア、以下、SAP Pioneer）との戦略的パートナーシップに基づき開発した、保険業界の基幹業務を支える次世代プラットフォーム「Fujitsu Cloud for Insurance Japan Edition」を2025年11月より日本国内向けに提供開始します。本プラットフォームは、グローバルで豊富な実績を持つSAP Pioneerが保険ビジネス向けにグローバルスタンダードとして提供する「SAP Pioneer Cloud for Insurance」（注2）を基盤に、当社が独自開発した日本の保険業界特有の規制要件や商習慣に対応した機能やサービスを統合することで、保険商品管理、契約管理、保険金支払いなど、保険業界の一連の基幹業務領域をカバーするオールインワンプラットフォームです。本プラットフォームは、金融機関のデジタル変革を加速させ社会課題解決に貢献するUvance for Finance（注3）として提供し、日本の保険会社における業務改善を支援するとともに、保険業界のビジネス変革に貢献します。



C4i Standard
Business
Process
by SAP Pioneer



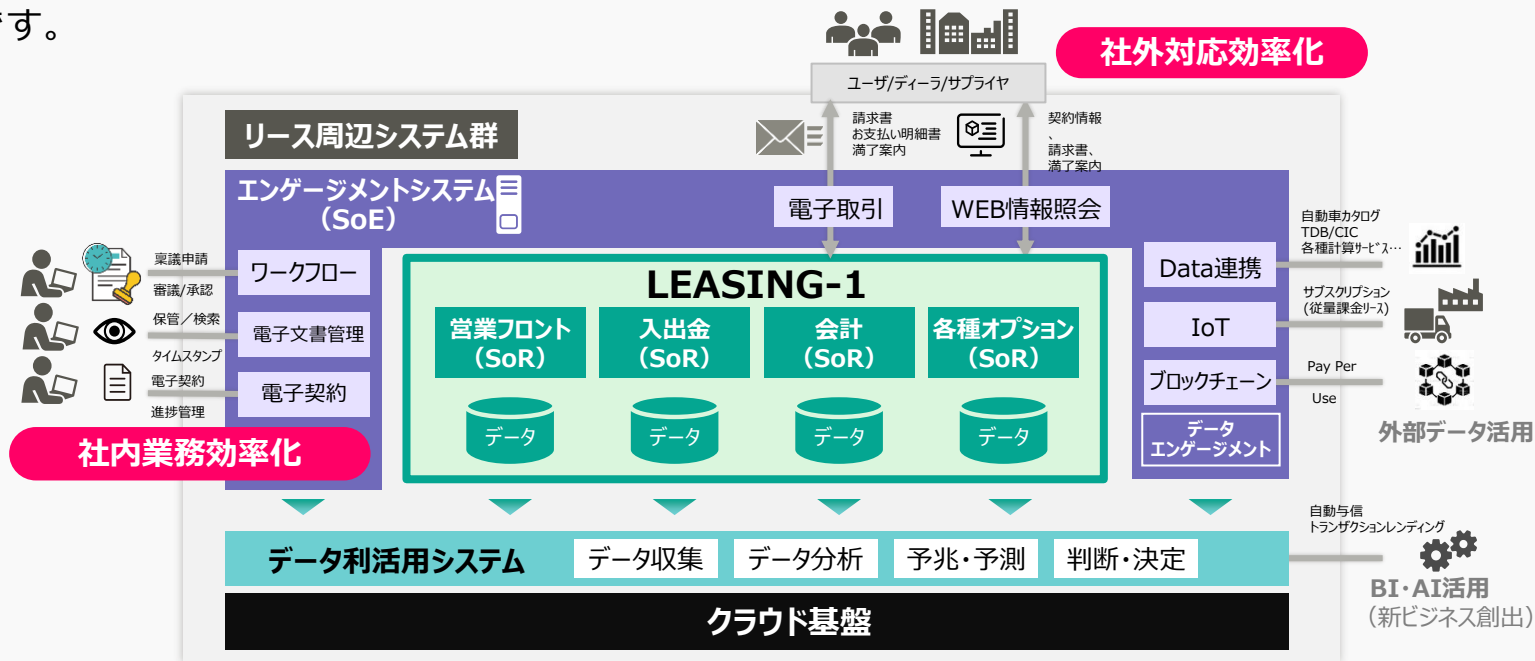
※ 保険基幹システム商品管理～請求・収納の機能に、SAPソリューションアナリティクス、会計システム機能を加えて、全保険業務をカバーします。



「Fujitsu Cloud for Insurance Japan Edition」で提供予定の機能例

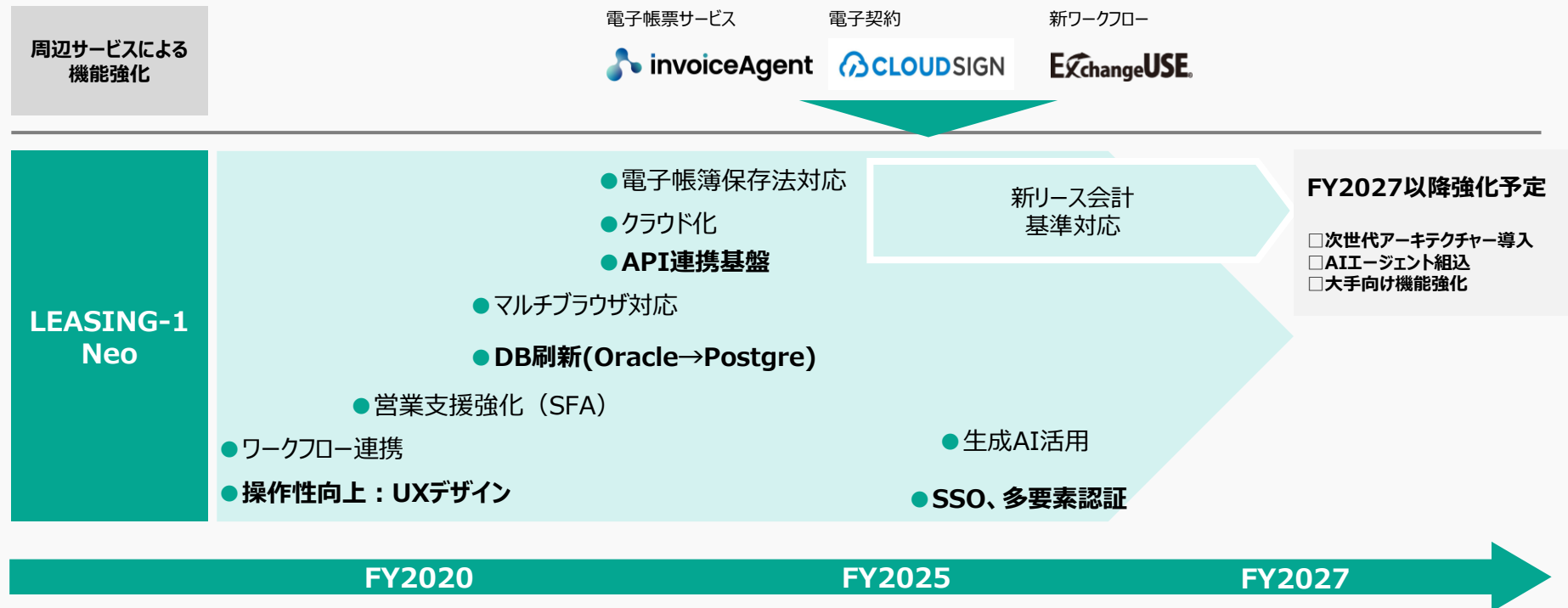
リースコアソリューション「LEASING-1 Neo」

「LEASING-1 Neo」は、UXの進化、リースコア業務強化、データ活用をコンセプトにお客様と新たな価値を共創するクラウド型リース基幹システムです。新たに地銀リース、オートリースのお客様がご利用開始予定です。



リースコアソリューション「LEASING-1 Neo」

時代の流れとともに進化を続けてきた「LEASING-1 Neo」は今後も機能面／アーキテクチャー面において継続強化予定です。



本発表内容は、一部構想中のものも含まれます。

AI／データ利活用プラットフォーム

Data Driven Finance

AI Decisioning Platform 2025



創設：1956年

コアソリューション：意思決定プラットフォーム

顧客数：100か国以上、10,000クライアント以上

米国の大手金融機関の90%以上がFICO
クライアント

AI、意思決定の最適化、応用ソフトウェアに関する200以上の特許を保有

FICOは、大規模な消費者向け金融サービス企業にとって世界最高の意思決定プラットフォームとなることを目指しており、顧客のライフサイクル全体（新規顧客獲得、信用リスク管理、不正検知、オファー管理を含む）をカバーする意思決定ソリューション提供しています。

THE FORRESTER WAVE™

AI Decisioning Platforms

Q2 2025



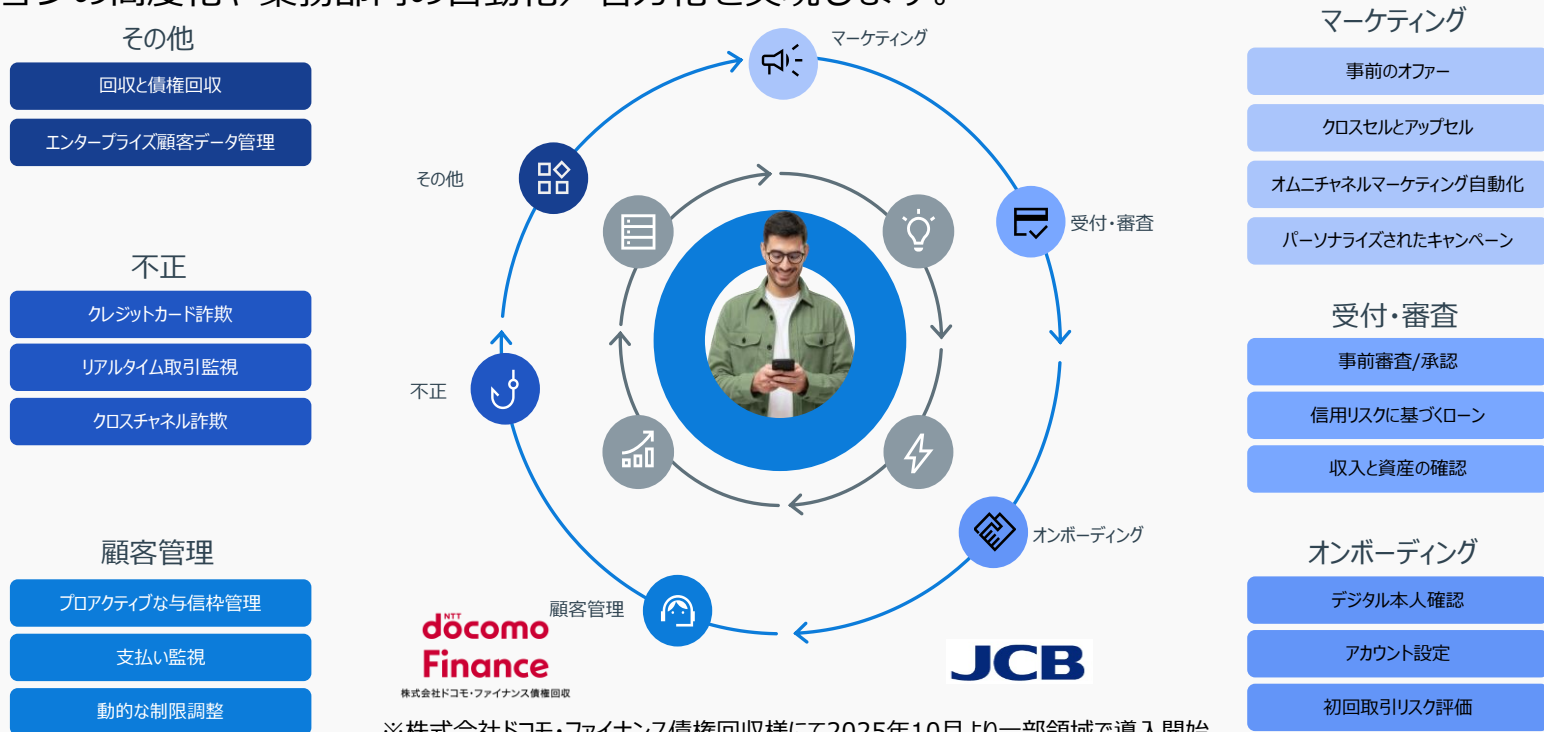
金融高度化ソリューション「FICO」

AIや数理最適化技術により社内外に散在するデータと資産をつなぎ、オペレーションエクセレンス、パーソナライゼーションを実現します。リユーザブル、コンポーザブルな部品群を必要な機能のみ導入可能です。



金融高度化ソリューション「FICO」

提供済のCustomer Communication Servicesにおいては、オムニチャネルを活用したお客様とのコミュニケーションの高度化や業務部門の自動化／省力化を実現します。

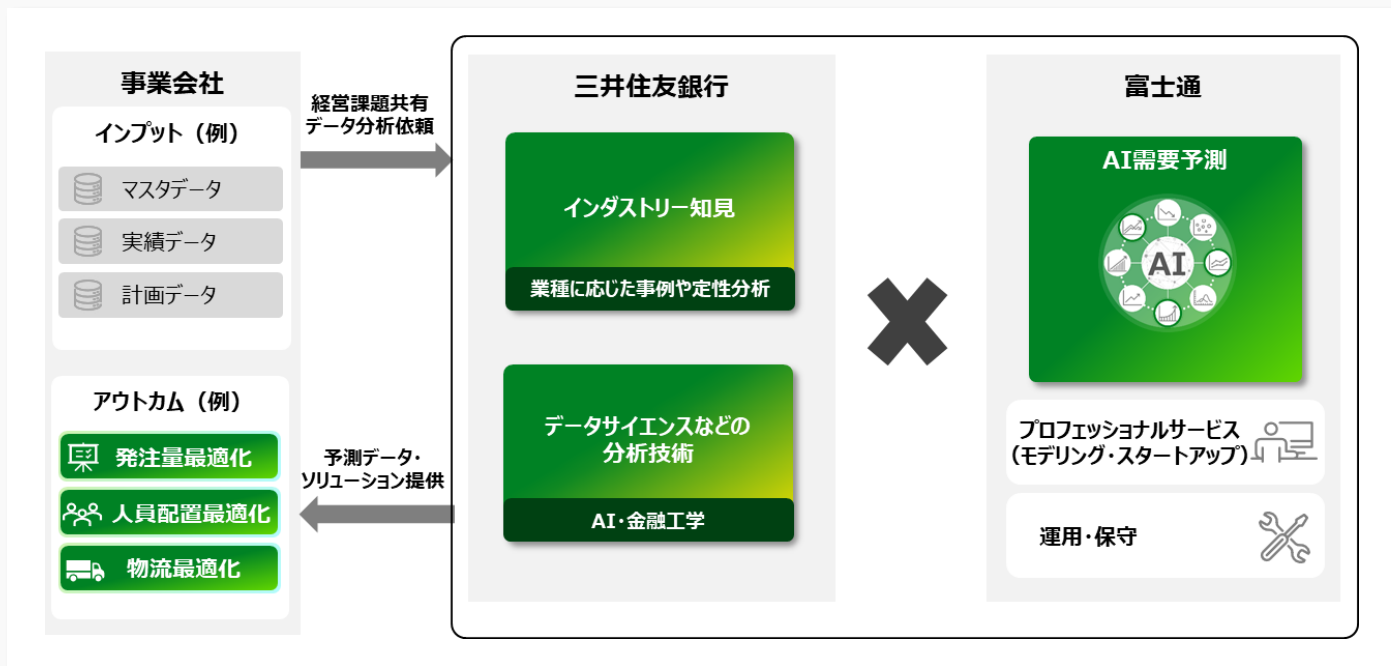


※株式会社ドコモ・ファイナンス債権回収様にて2025年10月より一部領域で導入開始

※株式会社ジェーシービー様にて2026年1月より一部領域で導入開始

取組み事例：三井住友銀行様とのAI・データビジネス共創 ～AIを活用したデータ分析ビジネス共創～

三井住友銀行が持つ業界知見やデータサイエンスなどの分析ノウハウに、富士通のAI需要予測を組み合わせたサービスを提供しています。複数のお客様より引き合いをいただきご提案中です。



出典： <https://pr.fujitsu.com/jp/news/2025/04/3.html>

カスタマーエクスペリエンス向上 スマートソサエティの実現

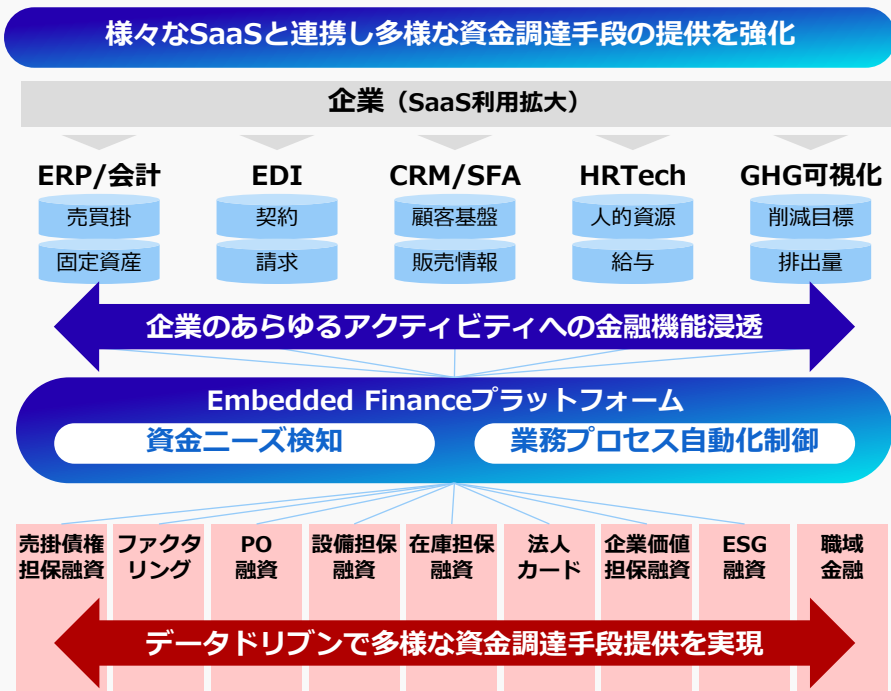
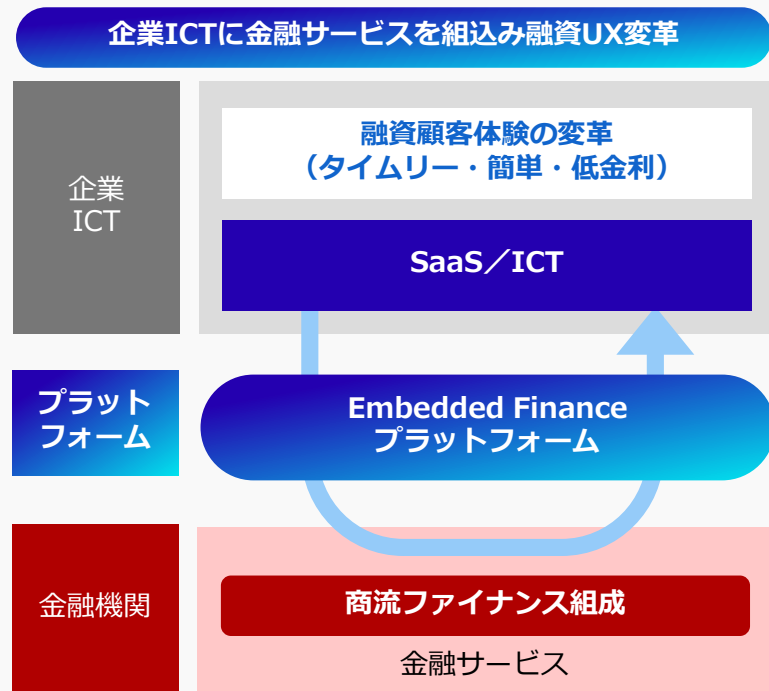
Personalized Experience

Finance Automation

Embedded Finance

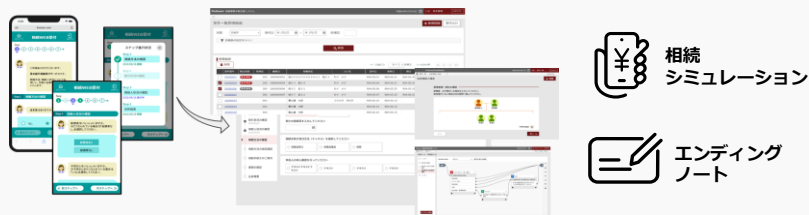
Fujitsu Embedded Finance Platform（仮称）

SaaSデータを活用し、企業の資金ニーズをAIが瞬時に検知します。多様な金融サービスをシームレスに提供する「Embedded Financeプラットフォーム」を構築し、金融とテクノロジーの力で法人企業の持続的な成長を強力に支援します。



相続支援ソリューション FinSnaviCloud（フィンスナビクラウド）

超高齢化社会に対応した相続領域に特化のクラウドサービスです。金融機関の複雑な相続事務のデジタル化を支援し、金融・非金融を問わず相続に関わるあらゆる手続きのワンストップを目指します。



効率化・利便性



テンプレート活用
受付チャネル拡充

戸籍謄本AIOCR



戸籍謄本読取
相続関係図作成

非対面・ペーパーレス



書類WEB提出
電子契約連携

ビジネスチャンス



終活サービス
生前アプローチ

採用金融機関：24社（2026.2時点）

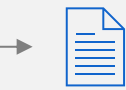
相続関係説明図作成機能をリリース



戸籍謄本



AI-OCR採用
戸籍データを解析
相続関係を可視化し作表

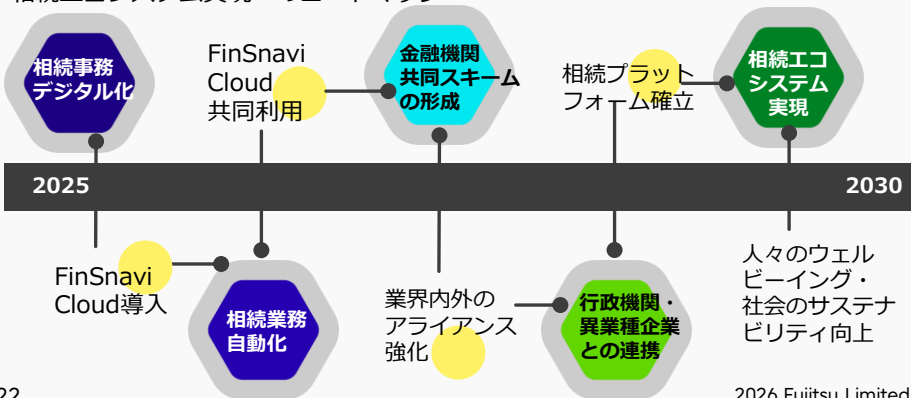


相続関係説明図



専門スキルを持つ人材確保・育成からの解放
戸籍謄本の目視確認を低減し相続人確認時間短縮
手作業による関係図作成不備や入力負担を軽減

相続エコシステム実現へのロードマップ



オンライン診断書連携サービス

患者・病院・生命保険会社を繋ぎ、
患者の給付金受取にかかる期間と手間を削減

オンラインで
手続き完結

給付金の
受取早期化

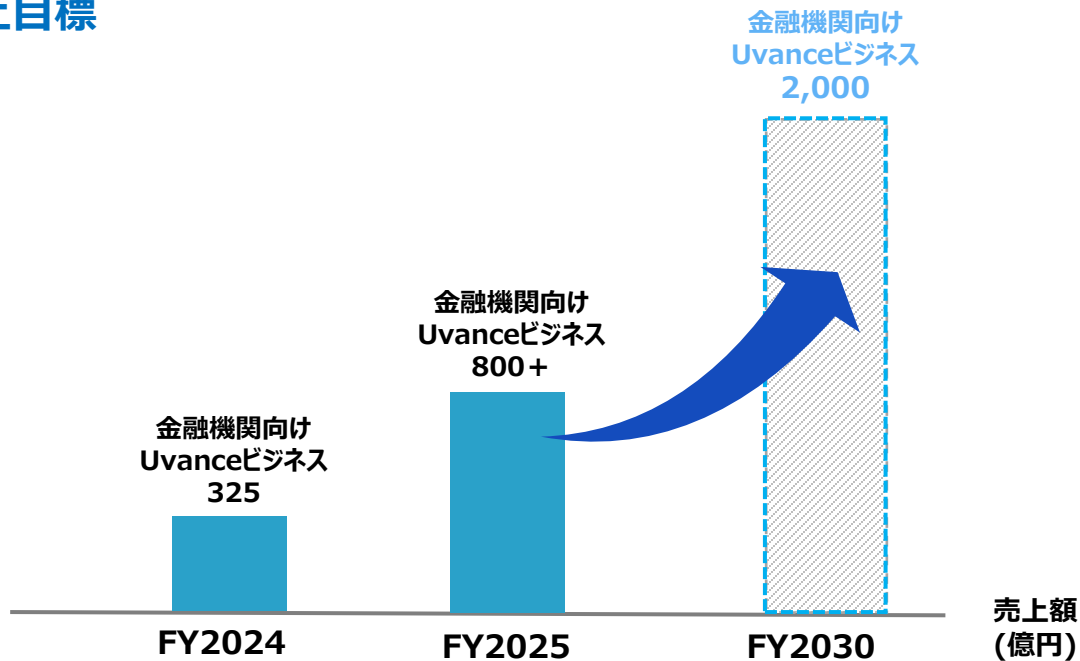
病院・
保険会社の
事務効率化



Uvance for Financeの拡大に向けて

Uvance for Financeの継続的なラインナップ強化、機能強化により、社会課題を解決する事業モデル「Uvance」の金融機関向けのビジネスについて、2030年度に2,000億円の売上を目指します。

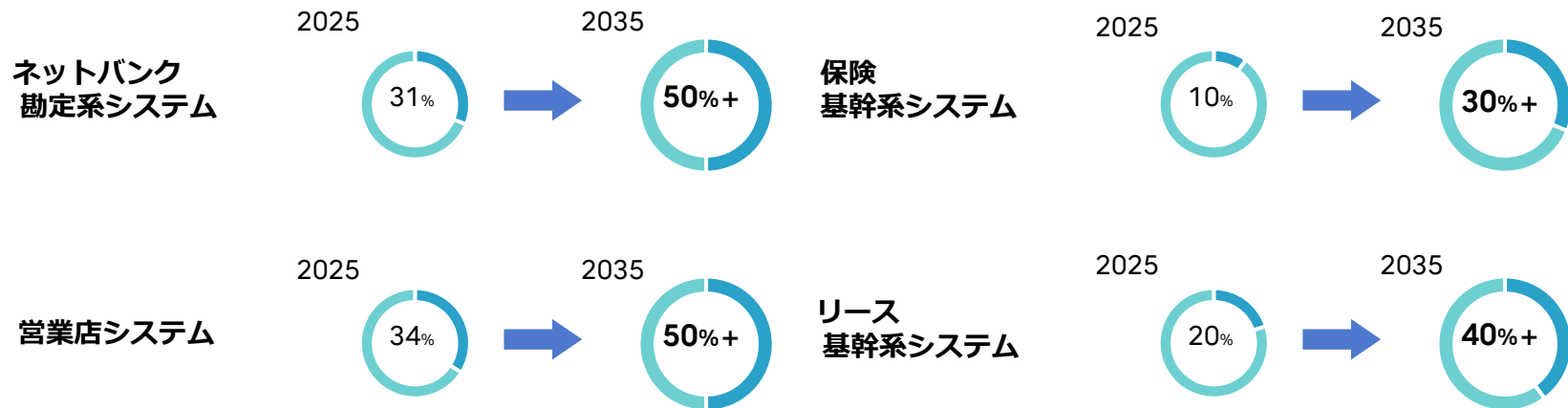
売上目標



Uvance for Financeの拡大に向けて

当社は、Uvanceが目指す世界観を踏まえて、金融機関のビジネス拡大に向けて貢献し、金融機関の基幹システムのシェア拡大を目指します。

2035年のマーケットシェア目標（ユーザ数）



イノベーションで金融の未来を拓く、富士通の挑戦 **uvance**



金融の未来

見えない安心が、
誰にでも届く社会へ

×

富士通の挑戦

デジタルを駆使した
イノベーションの実現

Thank you

